

“多文化共生”は多くの人の努力で

(いちよう団地地区)



多くの国につながる人が暮らすいちよう団地の自治は、自治会だけの努力では出来ません。小学校や行政からの援助、多文化まちづくり工房の皆さんやボランティアの皆さんの協力と学者の啓発などで支えられ成り立っています。外国につながる児童の親と地域の橋渡し役は貴重です。

「日本語分かりません」と言われる時は翻訳者の協力で文字化し、近所に住

んでいる、いわゆる「世話焼きおばさん」が指導や説明をしています。新入居者にはありがたい存在です。

また、外国につながる若者が多言語放送のアナウンスや防災の担い手にもなっています。

単自治会でも日頃から努力しており、ごみ分別の講習と懇親会をセットで開くなど、顔の見えるお付き合いを進めています。各種見学会なども盛んです。

各自治会長が共通して「まず、顔を見てしっかり挨拶する」ことを強調しています。

(いちよう団地連合自治会 副会長 こまつあきと 小松 秋人さん)

広報よこはま 平成27年1月号より

掲載内容は発行時のものでありますので、現在と内容が異なる場合があります。

問合せ：地域活動支援担当

TEL.045-800-2391 FAX.045-800-2507